

事例研究報告

**特別支援学校中学部生徒の適切な
他者との関わりの方を高める支援**

生徒の実態

- 1 中学部在籍 生徒4名
- 2 知的障がい
- 3 自立活動の時間における指導の時間
に実施
- 4 小集団によるSSTの実践

保護者の願い

「コミュニケーション能力を身につけさせたい」



同年代の同性・異性の友だちや
大人との円滑な関わりができる
ようになって欲しい。
どうしたらいいんだろう。

アドバイザーからの助言

- 般化を見越した身近なテーマを設定しましょう。
- 教示は最小限，生徒の活動率は確保しましょう。
- 生徒の発想とアレンジを尊重しましょう。



自立 活動

指導目標の見直し

9月	①ステキな挨拶ができるようになろう 基礎編 ②ステキな挨拶ができるようになろう 応用編
10月	①ステキな言葉遣いのリストを作ろう ②ステキな自己紹介ができるようになろう
12月	①ステキな謝り方ができるようになろう ②ステキな断り方ができるようになろう

保健

10月	思春期における心身の変化について
12月	自分自身のこと 友だちと恋人の区別 etc.

指導：ソーシャルスキルトレーニングの実施

時間	生徒の活動	支援上の留意点
導入 3分	1 あいさつ 2 ウォーミングアップ 1) 大テーマの確認 2) 本日のテーマの確認	<ul style="list-style-type: none"> モチベーションを高める。 説明は端的に。教示は× イメージしやすいキーワード
展開 27分	3 インストラクション 1) テーマの目的説明 2) 流れとルールの確認 4 モデリング 1) 教員の示範を参観 2) ワークシートの記入 5 リハーサル 1) ペア：繰り返し練習	<ul style="list-style-type: none"> 5分程度のコンパクトな進行 ネガティブな表現は× 5～7分程度のコンパクトな進行 適・否の例提示 繰り返し回数を多く設定 即時強化を積極的に展開
終末 10分	6 振り返り 7 次回のテーマ発表 8 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> iPadによる振り返り 自己評価&教員評価

記録方法と記録

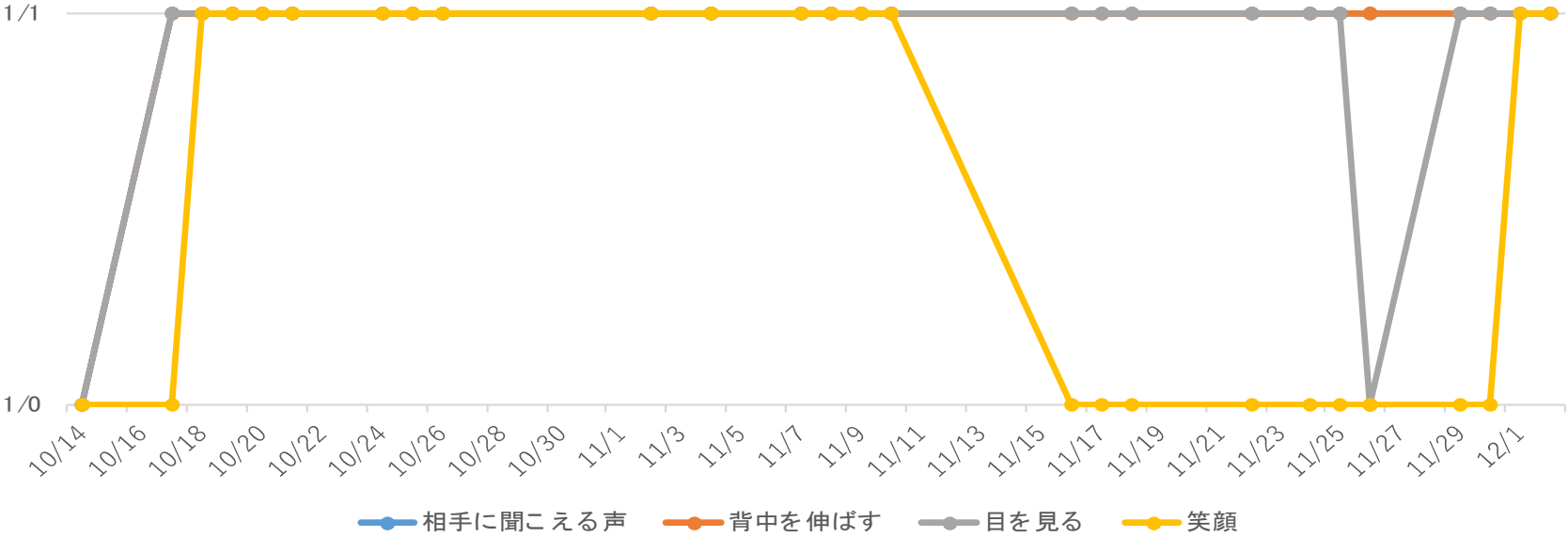
- 1 あいさつのポイントチェック表作成
- 2 各担任教員に説明・協力依頼
- 3 あいさつの具体的な評価規準4つ
 - 相手に聞こえる声で
 - 背筋を伸ばして
 - 相手の目を見て
 - 笑顔で
- 4 自己評価と担任教員による他者評価

指導の成果

Aさんの自己評価

1/2

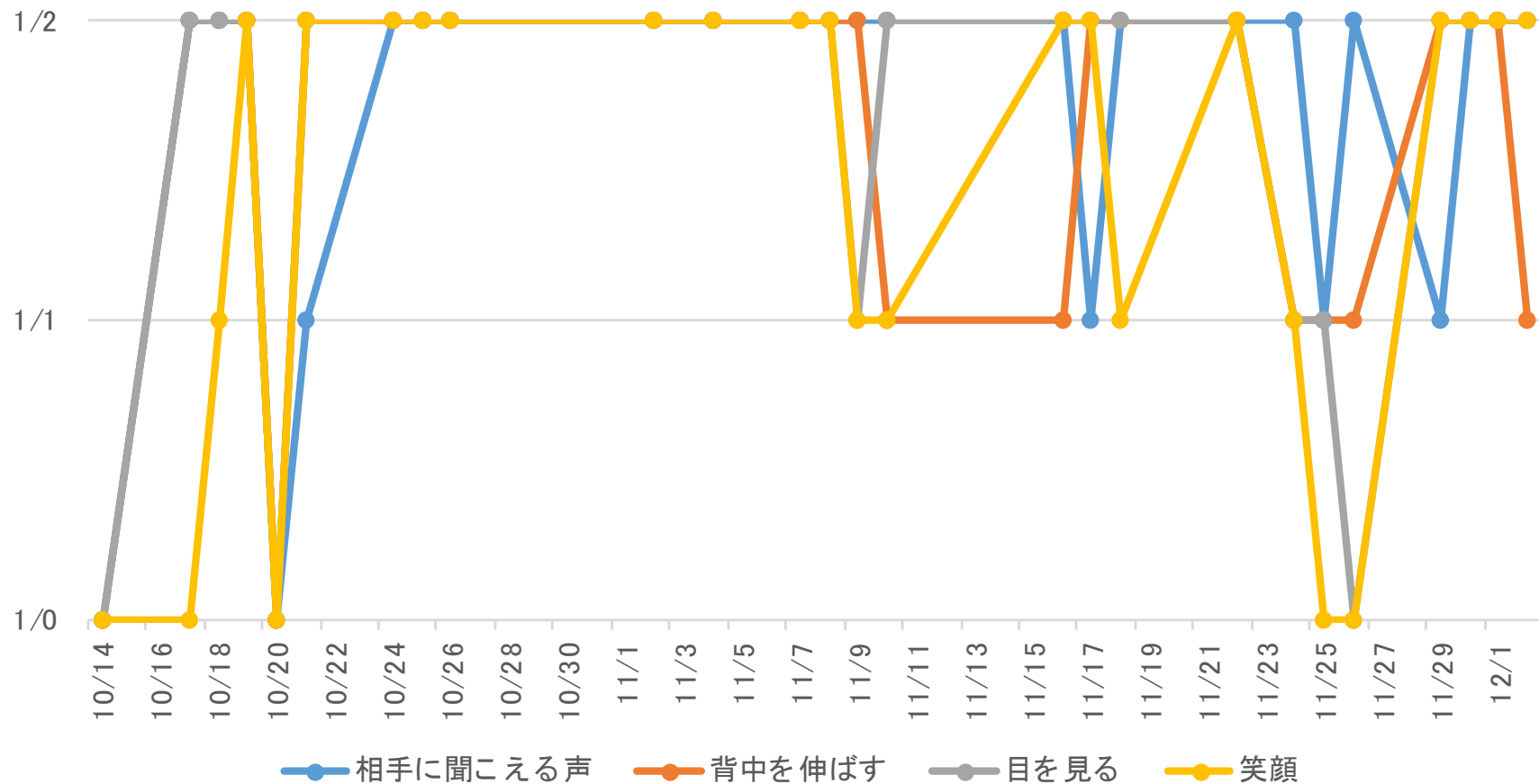
自己評価を高めるまでには至らず、評価基準の見直しや継続的な実践の必要性がありました。



指導の成果

生徒の授業中の活動率を増やしたことで、行動レパートリーを増やすことに繋がりました。

Aさんの担任評価



ここが成功のポイント



- 身近なテーマ設定と記録を取ることが、行動の定着に繋がる。
- 般化を見越した身近なテーマ設定と、生徒の発想とアレンジを尊重する。